

令和6年11月市長定例記者会見

日時：令和6年11月5日（火） 午前10時～

場所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、NHK 富山放送局
射水CATV

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
都市計画課長、政策推進課長、学校教育課長、
市民病院経営管理課長

Q1. Co-Innovation Universityについて、対象となる小学校はどこか。

A1. 対象学校の公表は控えることにしている。調査を行うにあたり、対象児童の保護者から同意をいただいているが、児童や教師の心理的負担が少なからずあると思う。負担を軽減し、適切な検証を行うための対応だ。研究結果などを報告することになれば、機会を設けたい。

Q2. 公務員の不祥事に関する処分の公表が遅いと思われるが、改善していくのか。

A2. 不祥事への対応に関して、まずは事実確認を行い、内容によっては全国の事例も十分に踏まえた上で、適切な処分を実施している。公表が遅いということだが、議会に報告するタイミングなどを考慮し、適切な時に公表している。議会で必ず報告しなければいけないわけではないが、内容によって議会で報告し、公表の判断を下すものもあれば、議会に事前に説明させていただいた上で公表するものもある。何を対象におっしゃっているのか分からないが、適切な対応をしていると思っている。

Q3. 衆議院選挙の開票について、射水市は投票の結果が開票結果と同じまたはそれより遅れるくらいのタイミングに出たと聞いている。原因は何か。

A3. 最終的な数値の間違いないか確認しなければならず、そこで少し時間がかかったと聞いている。原因をしっかりと踏まえ、今後のスムーズな開票作業に生かしていく。

Q 4. 市で検証し、原因を判明させて再発防止を図っていくのか。

A 4. 数字が合わず、開票作業が遅れるといったことは本来起きてはならないことだが、人為作業であり、完璧とはいかず起こり得ることだ。今回発生したことを検証し、再発防止に努める。また、有権者の皆さんのご意思を証明する大切な投票で間違いのないように、できるだけ速やかに結果を公表できるような体制を整えていきたい。

Q 5. 衆議院選挙について、投票の結果公表が遅れた原因を教えてください。

A 5. 細かい内容は内部で調査をしているところであるが、数字が合わず、再調査したため、結果公表が遅れてしまったと聞いている。

Q 6. 現場の話によると、開票の時ではなく、投票時点で問題が起きていたとのことだった。また、報道機関への情報提供も不足していたと思われるが、どうか。

A 6. 最終的な数字が正確か確認する段階で、公表可能かどうか判断したと考える。有権者、国民の皆さんは、選挙の結果等に非常に興味を持っておられた。正確な結果を出すことが第一ではあるが、確認に時間がかかり申し訳ない。報道機関に対しても、出せる情報を出していくことは必要であったと考える。今後の開票作業、選挙事務で今回のご指摘や反省を生かしていきたい。

Q 7. 少数与党になった衆議院選挙と県知事選挙の結果について、評価と今後の国政・県政に対する期待や要望を教えてください。

A 7. 衆議院選挙の結果は、政策ではなく、「政治とカネ」による政治不信、与党に対する厳しい批判が繋がったと感じている。政治への信頼回復に向けて取組をさらに進めていただく必要があると思っている。また、地方は、震災復興・人口減少への対応、こどもまんなか社会の実現、物価高騰・エネルギー高騰への対応、人手不足・老朽化した公共施設の対処など問題を抱えている。これらの課題を国もしっかり認識し、受け止め、一緒に取

り組み、国の立場でできることをしっかり進めていく姿勢を今後も示していただきたい。

県知事選挙については、新田知事が2期目の当選を果たされた。1期目の4年間の様々な取組が県民の皆さんに評価されたと思っている。震災・コロナ対応など、この4年間難しい県政運営を強いられたと思うが、県民に寄り添い、ウェルビーイングの推進に向けて取り組んでこられた。今後も地方は、大変厳しい状況に直面しており、進めていかなければならない施策が多くある。市町村だけでは解決できないものもあるため、県と連携して取り組んでいければと思っている。

Q 8. くるりんパークについて、来場者数と今後期待することを教えていただきたい。

A 8. 来場者数は担当課でご確認いただきたい。

オープン以来、多くの子どもたちや子育て世代の皆さんにご利用いただき、好評いただいている。北陸の冬は、子どもたちが外で遊ぶ機会が限られてしまうため、屋内遊具場をぜひご利用いただき、冬場でも元気に遊んでもらいたい。

射水市でも新年度予算で特別枠として「こどもまんなか社会実現特別枠」を設けた。子どもたちが健やかにたくましく育っていけるよう応援していく取組はもちろん、子育て世代の皆さんが安心して子育てができる環境の充実にさらに取り組んでいきたい。くるりんパークが射水市の取組の象徴となればうれしい。

Q 9. 来年の市制20周年に向けた事業は決まっているか。

A 9. 新年度予算でも念頭においており、様々な事業・既存イベントなど、市制20周年を意識した取組をしていきたい。予算を各部署から上げてもらっている段階であり、内容を固めていく状況ではないため、具体的には申し上げられない。